

平成22年度の長野県森林づくり県民税活用事業について

【方向】

平成22年度は2年間の成果を活かし、地域の皆さんによる活動への支援を拡充するなど、地域ぐるみの森林づくりをさらに進められるよう検討していきたい。

【拡充を検討している取組】

| 活用事業 | 事業名 | 平成21年度の状況 | 方向性 |
|------|----------------------------|---|--|
| 1 | 【間伐実行】 みんなで支える里山整備事業 | 集落周辺の里山の間伐に取り組んでいる。 【目標面積】 4,000ha | 信州の森林(もり)づくりアクションプランに基づき、集落周辺の里山における間伐面積を拡大したい。 【目標面積】 5,400ha |
| | 【条件整備】 地域で進める里山集約化事業 | 里山の間伐事業地の集約化を進めている。地域からの要望が高い。 【目標面積】 2,500ha | 地域の意欲を活かし、機会を逃さないよう、集約化面積を、前倒して増加させる等の対応を検討したい。 【目標面積】 3,500ha程度 |
| | 手入れの遅れている里山での間伐の推進 | | |
| 2 | 【間伐材利用】 間伐材利用の環モデル事業 | 間伐材の生産から利用に関わる地域の関係者(所有者、生産者、木材産業の3者)が協定を締結し、安定的に利用する仕組みづくりに支援。 | 地域内での間伐材利用をさらに促進するため、地域の工務店など最終消費者を含む協定締結(4者協定)への支援等について検討したい。 |
| | 地域固有の課題に対応した森林づくりの推進 | | |
| 3 | 【県民参加】 みんなで支える森林づくり推進事業 | ・森林づくりレポートの作成、森林づくり実感・体験ツアー開催、木製PR看板等の設置による広報普及啓発。 ・県民会議、地域会議による成果検証等。 | 県民税の取組をより多くの皆さんに知っていただくため、森林づくりセミナーの開催等を検討したい。県民会議・地域会議において、今後の森林・林業施策のあり方について検討したい。 |
| | 【県民参加・学習活動】 木育推進事業 | 身近な森林や森林資源を活用し、子どもから大人まで参加できる学習機会としての木育活動に支援。地域会議等で高い評価を受けている。 | 木育活動が地域ぐるみの取組のきっかけづくりにも寄与しており、要望も多いことから、事業費を増やして支援する等について検討したい。 |
| | 県民や企業の森林づくりへの参加等の促進 | | |